

# DFPlayerMini 用 評価基板

## 1. 特徴

DFPlayerMini の説明書に記載の機能を実際に確認することができます

- ✓ 4本の端子に接続される全22個のボタン操作
- ✓ モニタースピーカー（ボード上に搭載、切り離し可能）
- ✓ ステレオライン出力（ステレオミニプラグ）
- ✓ USB インタフェース（USB メモリを接続）
- ✓ シリアルインタフェース
- ✓ BUSY 信号出力

DFPlayerMini の電源電圧を規定の 4.2V に調整できます

- ✓ 9~12V の元電源から電圧可変三端子レギュレータで調整しています。これとは別に、USB メモリ用に 5V レギュレータも搭載できます

組立後は電子工作玩具 - 効果音再生機「ポン出し」としても使用できます

- ✓ 14種類の効果音を押ボタンで直接再生できます
- ✓ microSD または USB メモリに書き込んだ音源ファイル(MP3 など)を再生します
- ✓ 小型スピーカーを搭載し、ボード単体で音を出せます
- ✓ 3.5mm ミニプラグにイヤホン、パワーアンプ内蔵スピーカー(PC スピーカー)等を接続してステレオ再生ができます

## 2. 必要なもの

- ✓ キットではありません。別途部品を集める必要があります。
- ✓ 部品の実装は、動作確認したい機能の範囲にすることができます
- ✓ 9-12V の DC 電源（AC アダプター）が必要です。
- ✓ 組み立てには、はんだごて、はんだ、ニッパーなどの工具が必要です
- ✓ 電圧調整のためのテスターや小型ドライバーが必要です
- ✓ 音源の書き込みには microSD カードや USB メモリに書き込む手段(PC 等)が必要です

## 3. 組み立て方

評価に必要な部品のみ実装することも可能です。回路図を参照ください

- ✓ 背の低い部品からハンダ付けするのがコツです
- ✓ DC ジャックなど、熱容量の大きなはんだごてが必要な箇所があります
- ✓ LED の向きに注意してください

- ✓ 電解コンデンサの向きに注意してください
- ✓ ショートプラグ 2 本を差す方向に注意してください。ボードの横長方向と同じ方向です  
ピンヘッダの黒い台座部分の溝もショートピンに合わせて横向きにすると美しいです
- ✓ DFPlayerMini を差し込む前に、+5V 電源を接続して、供給電圧を調整します  
テストピンを利用できます。半固定抵抗を静かにまわして+4.2V に合わせます。合わせ  
終わったら AC アダプターを一旦抜いて、DFPlayerMini を差し込みます
- ✓ DFPlayerMini の向きに注意してください  
microSD の挿入口が手前(押ボタン)側です

## 4. 動作と使い方

- ✓ 9~12V 出力の AC アダプターを接続します  
DC 通電中電源スイッチオンで LED が点灯します
- ✓ microSD や USB メモリに書き込まれた MP3 ファイルを再生できます  
MP3 ファイルの書き替えにより再生音や順序を変更できます。FAT16 または FAT32 形  
式の 32GB 以下のメディアに対応しています
- ✓ 3.5mm ミニプラグからステレオ音声を取り出せます  
ステレオミニプラグを使用してください。3.5mm ミニプラグ出力との間に安全用の抵抗  
100Ω が入っています。出力不足など直結したい場合はジャンパ接続してください。イヤ  
ホンなどを接続している間も、プリント基板上のスピーカーから音が出るることがありま  
す。スピーカーからの音を消したい場合は、本文⑥のショートプラグを外してくださ  
い。
- ✓ ショートプラグ 2 個を外すとスピーカーを切り離せます  
モニター出力に、ボード上の小型スピーカーに代えて外部スピーカーを使用する場合  
は、ピンヘッダの内側 2 本に接続します
- ✓ DFPlayerMini 上の LED は、音声再生中に点灯します  
LED の色は、青色、赤色などの場合があります
- ✓ USB コネクタは USB メモリ専用です

- ✓ ピンソケットの BUSY は、DFPlayerMini の BUSY 出力です  
音を再生中、L レベルになります
- ✓ シリアル接続する場合は、ピンソケットの RX, TX, GND を接続してください  
RX は MCU 側の TX と、TX は MCU 側の RX と接続します。MCU 側が 5V の場合を想定し、RX、TX との間に抵抗 1k $\Omega$ が入っています。MCU 側が 3.3V の場合でも、ほぼ支障なく使える模様ですが、レベルが不足する場合は抵抗 1k $\Omega$ の代わりにジャンパ等で接続してください
- ✓ 押ボタンの動作  
下表を参考にしてください

押ボタン	機能・効果
1～14	1～14 番の音を再生します
Next/Vol+ (*1)	短押し: Next 次の番号の音を再生します 長押し: Vol+ 音量を上げます
Prev/Vol- (*1)	短押し: Prev 前の番号の音を再生します 長押し: Vol- 音量を下げます
Pause/Play	一時停止または再生を再開します
USB/microSD	USB メモリと microSD のどちらを選択するかを切り換えます
Repeat All	USB メモリまたは microSD に書き込まれている音を繰り返し再生します
Play Mode	再生中に押すと、再生中のファイルを繰り返し再生します その他、詳細は不明です

(\*1) 同じ機能のボタンが 2 個あります。接続の違いは回路図を参照ください  
押ボタンの操作性は、DFPlayerMini に由来します

## 5. microSD の音源ファイル

音源の例が、以下にあります。

<https://github.com/botanicfields/BF-011A>

## 6. 参考情報

モジュール DFPlayerMini(DFR0299)の説明書を参照ください

詳細情報への URL は、以下にあります。

<https://github.com/botanicfields/BF-011>

DFRobot DFR-0299:

<https://www.dfrobot.com/product-1121.html>

[https://wiki.dfrobot.com/DFPlayer\\_Mini\\_SKU\\_DFR0299](https://wiki.dfrobot.com/DFPlayer_Mini_SKU_DFR0299)

<https://github.com/DFRobot/DFRobotDFPlayerMini>

Flyrontech FN-M16P:

<http://www.flyrontech.com/eproducts/84.html>

<http://www.flyrontech.com/uploadfile/download/20184121510393726.pdf>

<https://docs.google.com/document/d/1sbZnzhrAAXFYlKePREef-rD63molaLCEJMT4LRoT2So/edit>

<https://github.com/rwpalmer/DFPlay>

## 7. 提供元

ボタニック BotanicFields, Inc.

<https://twitter.com/botanicfields>

<https://www.facebook.com/botanicfields/>

以上